

令和元年度第5ブロック国立高等専門学校技術職員研修報告

第二技術班 藤井 奈穂子

1. 参加目的

九州沖縄地区高専の技術職員が職務の遂行に必要な服務等に関する一般知識、技術に関する専門知識等を習得し、技術職員の資質の向上を図るため、本研修に参加した。

2. 開催要項

主催：国立高等専門学校第5ブロック会議

期間：令和元年8月28日（水）～8月30日（金）の3日間

会場：熊本高等専門学校八代キャンパス

受講対象の専門分野：建設系、建築系、化学・生物系

日程表：

8月28日（水）	8月29日（木）	8月30日（金）
【開講式】 【講義Ⅰ】 「Well-being に志向した教育に向けて」 【技術課題発表】 前半テーマ：生物 後半テーマ：土木・建築 ものづくりアイデア交換会	【講義Ⅱ】 「バイオテクノロジーの発展と醸しの関係」 ～清酒造りはオールドバイオ？～ 【講義Ⅲ】 「熊本地震での建造物の被害について」 【見学】 ・建造物見学（通潤橋） ・製造工程見学（通潤酒造）	【研究室等見学】 ・生物系研究室 ・土木・建築系研究室 ・実験実習棟 【閉講式】

3. 参加報告

3. 1 講義

講義Ⅰでは「Well-being」が幸福感を意味する言葉であることや、「幸福感を得る」という視点からの教育方法について聴講した。具体的な教育方法についてはまだ研究中とのことであったが、目的を突き詰めると「真の目的」に辿り着き、それが幸福感に繋がっているという話は、実験や進路相談で助言する

際に役立つのではないかと感じた。

講義Ⅱの醸造に関する講義では、アルコール発酵の基礎や清酒造りについて学び、専門分野の知識を深めることができた。

講義Ⅲでは、熊本地震での建造物の被害について聴講し、建造物の種類や耐震について学んだ。特に耐震補強については「倒壊を防ぐこと」が目的であり被害を受けない訳ではないことを知った。

3. 2 技術課題発表およびものづくりアイデア交換会

技術課題発表では各高専で取り組まれている研究や公開講座について話を聞くことができた。また、ものづくりアイデア交換会では出前講座等の内容について高専毎に発表し、積極的な意見交換をすることができた。複数の学科で協力し合って研究や講座を実施している高専もあり、本校でも検討してみたい。

3. 3 見学

建造物見学の通潤橋は、観光目線でしか見たことがなかったが、深い谷で囲まれた台地へ水を送るための知恵や、それを実現するための職人たちの技術を知ることができ、技術者の在り方について学んだ。

通潤酒造は仕込みの時期ではなかったため施設見学だけではあったが、仕込みの蔵、圧搾の作業場、瓶詰め作業場、貯蔵の蔵、寛政蔵など清酒造りの現場について知ることができた。

八代キャンパスの施設見学では、建築設計演習室、高電圧工学研究室、分子構造解析室、実験実習棟を見学した。我が校には無い建築系の研究室では模型製作が行われており大変興味深かった。分子構造解析室では蛍光に関する説明があり、分光光度計や蛍光 X 線分析装置を見学した。

4. おわりに

今回の研修では、専門分野である化学・生物の知識だけではなく、建設・建築に関する知識も得ることができた。また、他高専の技術職員との交流により、それぞれの研究や出前講座などの情報も得ることができた。しかし、今回は情報を提供してもらうことの方が多く自身の経験不足を痛感したため、今後は様々なことに挑戦し、経験を積むことに励みたい。